

ガンコ親父の

「今年も2月14日に煮干しの佃煮を持ってきてたなあ、裏の婆さんと、松次郎は貴代に話しかけた。」あなたが、庭のゴーヤを分けてあげているからですよ。それが、とっても嬉しいんだって。」

松次郎は今年のバレンタインデーで、同居の次男の嫁である花菜(かな)からも、挽いた珈琲豆をもらっていた。この贈り物は花菜が貴代から聞いていた話から生まれたものだった。

その当時、松次郎は東京帰りの友人から、珈琲だったから「ブルー・マウンテン」という豆が最高だということを知っていた。「通はみんなブルマンって言うんだよな」と流行ものの情報に詳しい友人は言った。そして、

「俺なんかいつも珈琲は苦いままよ。砂糖はまず使わないし、仮に使う場合でも角砂糖1個を歯でコリッと半分に分けて、それを珈琲に入れるくらいだ」と聞かされていた。

すぐに影響を受けた若い松次郎は、その苦い珈琲を「男らしい飲み物」だと思った。男らしさを大切にしなければと考えていた人間にとって、珈琲はカッコウの飲み物に映った。やっぱり男は黙ってブラックだ。

ある日、松次郎は付き合い始めた貴代を喫茶店に誘った。喫茶店に入った二人に、若いウエートレスが注文をとりに来た。緊張気味の松次郎は魔がさしたように、いきなり「あの、ブルマーはありますか？」と聞いてしまったのだ。大きな声をかけられたウエートレスは、ばあっと顔を赤らめた。

貴代はすぐに助け舟を出した。「ブルー・マウンテンという珈琲は置いてないですよね？」の声に救われたように、ウエートレスはホッとしながらうなずいた。

松次郎は砂糖を入れないブラック珈琲を飲みながら、縮こまっていた。カッコよく言おうとした「ブルマン」を、間違えて言ってしまった間抜けな自分の記憶力を責めた。悔しかったが、しかしそのおかげで得るものも大きかった。味わった恥ずかしさと引き換えに、その時に松次郎は人としての大切な成長を手に入れることが出来たのだ。中途半端が二番いけない。たとえ、単語ひとつでも身につくまではしっかりと覚えなくてはいけないことを。そして、間違えて失礼なことをしたら必ず謝らなくてはならないことを。

喫茶店を出る前に例のウエートレスに頭をかきながら非礼を詫言びた。奥にいたマスターが「うちのブラック珈琲は苦かった。だるうけど、美味かっただろ？ あんたみたいな男の珈琲だよ」とウインクしながら言った。

常圧蒸留

しまら
伝蔵
でん
ぞう



昔ながらの手造り こだわり焼酎

喜界島の豊かな大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのコクのある味と香りです。



900ml (25度) 1800ml (25度) 1800ml (25度)

2014年春季全国酒類コンクール・黒糖焼酎部門第1位受賞

松次郎は煮干しの佃煮を食べながら「しまっちゅ伝蔵」をぐいっと飲んだ。「ところで、花菜ちゃんがくれたコーヒー豆は『キリマン』かい?」「いいえ、あなた。キリマンじゃなくて、キリ・マン・ジャ・ロです。ブルマーもいいけど、これもあなたが好きな珈琲のはずですよ」と貴代は笑った。

松次郎は少しムツとしたが、すぐにつられて笑いだした。その笑顔にひき付けられて、孫の譲(ゆずる)が寄って来た。

25度
好評発売中



喜界島酒造株式会社
鹿児島県大島郡喜界町赤連296番地12
TEL 0997(65)0251

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造はこの活動を応援しています。



the most beautiful villages in japan
喜界町
鹿児島県

喫茶店に乾杯!

<http://www.kurochu.jp> お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。